

令和5年12月25日

保護者様

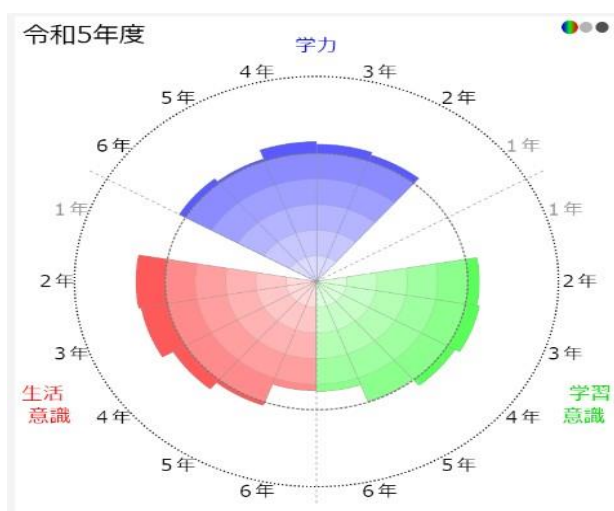
横浜市立矢向小学校
校長 沼田 留美子

令和5年度横浜市学力・学習状況調査の結果について

本年度実施した、横浜市学力・学習状況調査(2~6年生)の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取り組みについてご説明させていただきます。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの資質・能力を育成することに引き続き取り組んでまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をさせていただきますよう、お願いいたします。

(1) 学力・学習状況調査結果



(2) 学力・学習状況調査結果の考察

すべての学年で学力が全市の平均を上回っています。日々の授業を大切に、児童は学習改善、教職員は授業改善にそれぞれ真摯に取り組んだ結果と捉えることができます。一方で学習意識、生活意識は学年が上がるにつれて、下がる傾向が見えます。必要感をもって学習に取り組めるようにしたり、自らの生活をよりよくしようと行動できるようにしたりするために、地域、家庭、学校がさらに協力し、児童の育ちを支える必要があると考えます。

(3) 学力向上に向けた今後の取り組み

- ・児童が必要感をもって基礎的な知識、技能を正しく身に付けられる授業づくりを継続します。(知識・技能)
- ・問題解決的な学習の中で、集めた情報を整理したり、分析したりすることを通して、自分の考えを構築する力を高めます。また、考えを伝え合う力を高めます。(思考・判断・表現)
- ・地域の教育力を積極的に活用することで、自分づくりの観点からも夢をもって、学習したり生活したりできるようにします。(主体的に学習に取り組む態度)